

千恵からの報告

平成21年5月11日の着信履歴に、福島 母の名前が有り翌朝電話をしてみたが電話はしていませんとの返事であった。何かの間違いかなどと思い忘れかけていたが、その日の夜、また着信履歴が2度入っていた。半信半疑で電話をして見ると、今朝ほどはごめんなさいと、お母さんの声で千恵がしたそうで今代わります。

千恵から関東大会出場が決まりました、が第1声であった。卒団して1・2度顔を見せたが最近では忘れかけていた存在だったのでビックリ、でもすごく嬉しかった。

思えば、彼女は男子部員の中に混じって練習に参加していた、女子部の生え抜きの選手であり6年生になると友達を誘い、チームが出来主将を務め、頭のいい優秀な選手であった。

鶴沼中学では、怪我が多く大変だったと聞いていたが素質はあった。高校への進学時どこへ行くのかなと気にはしていたが、藤沢西高に入ったと風の便りに聞いていた。

まだ、2年なのにレギュラーで頑張っていると聞き一度試合を見たいと思いつつ、「全国にも行きます」の言葉に今後の活躍に期待したい。

昭和39年、藤沢高校3年のとき、国体(新潟)3位の報告を、恩師の松井先生に報告に行った、自分の若き日とダブらせていたが**がんばれ、千恵・・・頑張れ、西高**

バレーボール
目指せベスト8

藤沢西 初の関東へ

4月26日から今月16日まで平塚総合体育館ほかで開催された関東高校県予選で藤沢西高校女子バレーボール部(森久保樹監督)がベスト8に進出。6月5日から埼玉県で開催される関東大会出場を決めた。同校女子バレー部の関東出場は創部以来初となる。

西高は先月行われた湘南地区予選で茅ヶ崎、鎌倉、茅ヶ崎北陵を全てストレートで下して、県予選会に進出。シードで2回戦からの出場となった西高は緑ヶ丘女子を2対0のストレート、関東大会出場がかかった準々決勝では上矢部を第1セット25対19、第2セット25対20のストレートで破り、関東への切符を手にした。続く準決勝では春高バレー県予選ベスト4の強豪、相原と対戦。粘りのバレーを展開するも0対2で敗れた。7年前に同校に赴任した森久保監督は、「部員3人からのスタートだった。よくこまできた。本当にうれい。関東ではベスト8を目標に落ち着いて自分たちのバレーをやりたい」と話した。

部員は現在40人、ほとんどの選手が藤沢、鎌倉出身だという。森久保監督は遠方から優秀な選手を集める

藤沢
UJISAWA
SPORTS
スポーツニュース
NEWS



神奈川県立 藤沢西高等学校 女子バレー部
全員バレーでベスト8をねらう西高バレー部

のではなく、地元の選手を育て上げ、関東・全国を目指すことをポリシーに指導を行ってきたという。

チームは決して大きないが、リベロの中塚直子選手の手強いレシーブ、部長でセッターの甘利友紀選手の手巧みなトスワーク、そ

木村主将は「決まった瞬間は正直ほっとしました。関東では元気な全員バレーで一つひとつ勝っていきたい」と意気込みを語った。